

部分補修 (熱硬化)

4 部分補修 (熱硬化) … 一体型施工機の転倒対策

状況 φ200の更生後、一体型を施工するにあたり、施工機の転倒で思うように施工できなかった。施工機は150-150のしぼりゴムを使用。

対策 光用ゴムの廃材を利用して、2重にゴムを巻きつけて、ビニールテープで固定。

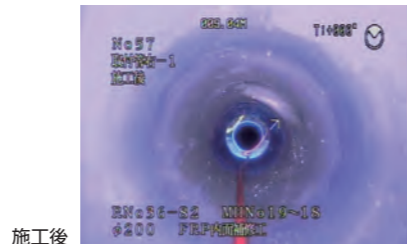


施工前

施工中



ゴムを2重に巻きつける

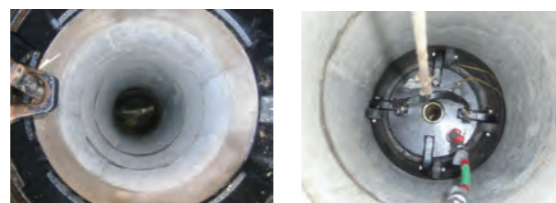
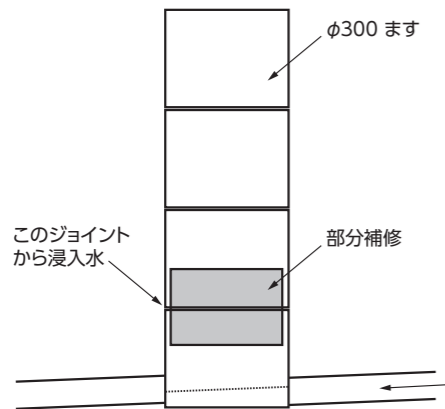


施工後

5 部分補修 (熱硬化) … 小型マンホールの目地止水補修

状況 φ300の小口径ますのジョイント部より浸入水。ます深が深いので、浸入水処理ができない。

対策 φ300用施工機を宙づりにして施工を行った。



施工前

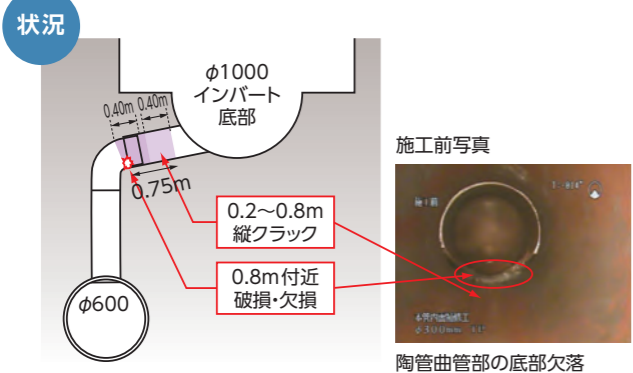
施工中



施工後

6 部分補修 (熱硬化) … 欠損・縦クラックの特殊な補修

φ300 陶管 破損部の補修

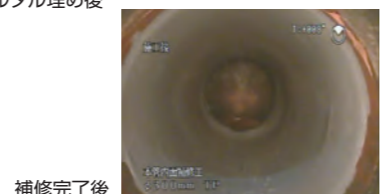


対策 急結モルタルにて欠落部分を埋めた後、部分補修を施工する。



モルタル埋め後

部分補修後



補修完了後

7 部分補修 (熱硬化) … 伸縮一体型による施工実例

φ450 人孔よりの 200-150 一体型補修



現場状況 洗浄工



φ450人孔…深さ1.30m



伸縮一体型… φ200-150用 収縮時の全長… 50cm



通常の一体型施工機(200-150)との比較 全長…85cm



施工方法

200-150の補強繊維に樹脂を含浸



伸縮一体型に補修材を巻き付け、収縮させる



φ450人孔より、T字棒を使って施工機を挿入

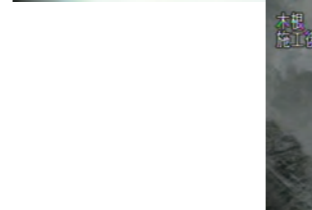


工事車側にて、施工機に内蔵されたカメラ映像を見ながら位置合わせを行い、拡径・硬化させる

8 部分補修 (熱硬化) … 小口径排水管の木の根/段差

状況 工場内の排水設備 φ125において、段差部分に木の根が侵入して、流域を阻害していた。

対策 一穴ノズルにて、木の根を除去後、段差が大きく、φ125用ちび弾丸では、施工が難しいため、φ100用のロングタイプちび弾丸で40cm幅の施工を行った。



施工前



施工状況



使用機材 (φ100 ロングちび弾丸)



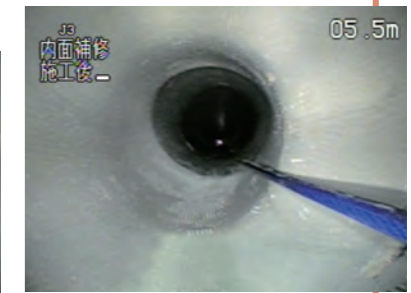
木の根除去中



除去した木の根



施工中



施工後